



パレットとやま

～洪水に備え、危険箇所の合同点検～ 水防河川巡視を行いました

富山河川国道事務所では、6月6日（水）に常願寺川と神通川、6月7日（木）に庄川と小矢部川の水防河川巡視を行いました。

水防河川巡視は、富山河川国道事務所水防連絡会主催のもと、関係水防機関や電力・鉄道会社、災害協定業者、地元住民の方々と合同で、洪水時に危険となる箇所の確認や緊急資材倉庫の資材の備蓄状況の確認を行い、水防活動に万全を期すことを目的として行っています。

当日は、2日間で延べ約200人に参加いただき、重要水防箇所や緊急資材倉庫の状況など4河川で計25箇所の巡視を実施しました。また、巡視終了後には意見交換会を通じて情報共有を図りました。

北陸地方の梅雨入りが目前となっているなか、富山河川国道事務所では、水防体制を整え、これからの洪水期に備えています。



6/6AM 常願寺川 39名参加
(写真は富山市本郷島地先)



6/6PM 神通川 37名参加
(写真は富山市八尾町石戸地先)



6/7AM 庄川 57名参加
(写真は高岡市上麻生地先 庄川緊急資材倉庫)



6/7PM 小矢部川 53名参加
(写真は高岡市福岡町上野・田川地先)